

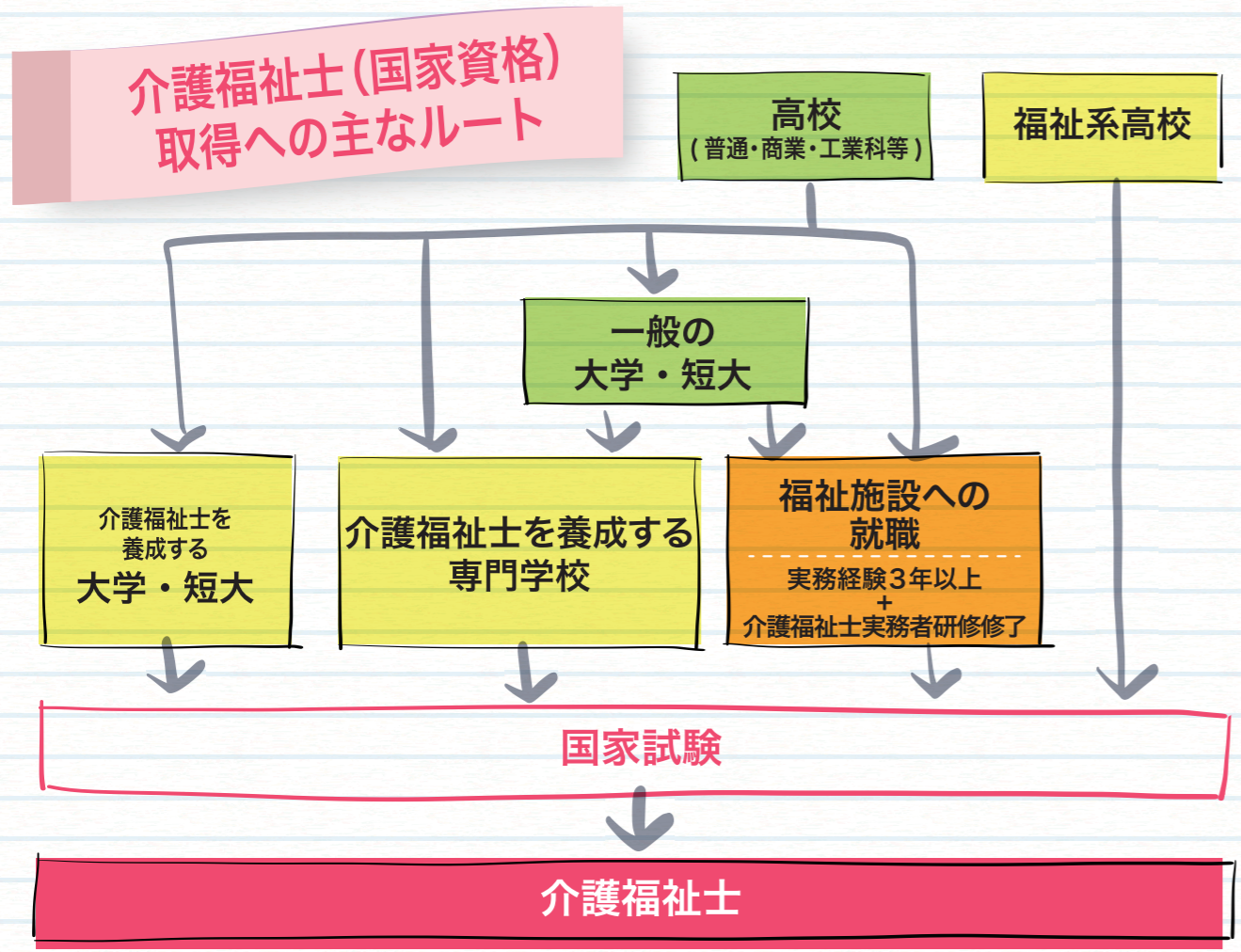
介護業界で活躍する

介護業界に入るだけであれば、特に資格はいりません！介護業界の入り口は広く、働きながら専門の資格を取得することもできます。

- 主な介護職の資格**
- 介護福祉士 (国家資格)
 - 実務者研修修了者
 - 介護職員初任者研修修了者
 - 生活援助従事者研修修了者
 - 入門的研修修了者 等

介護福祉士になるためには

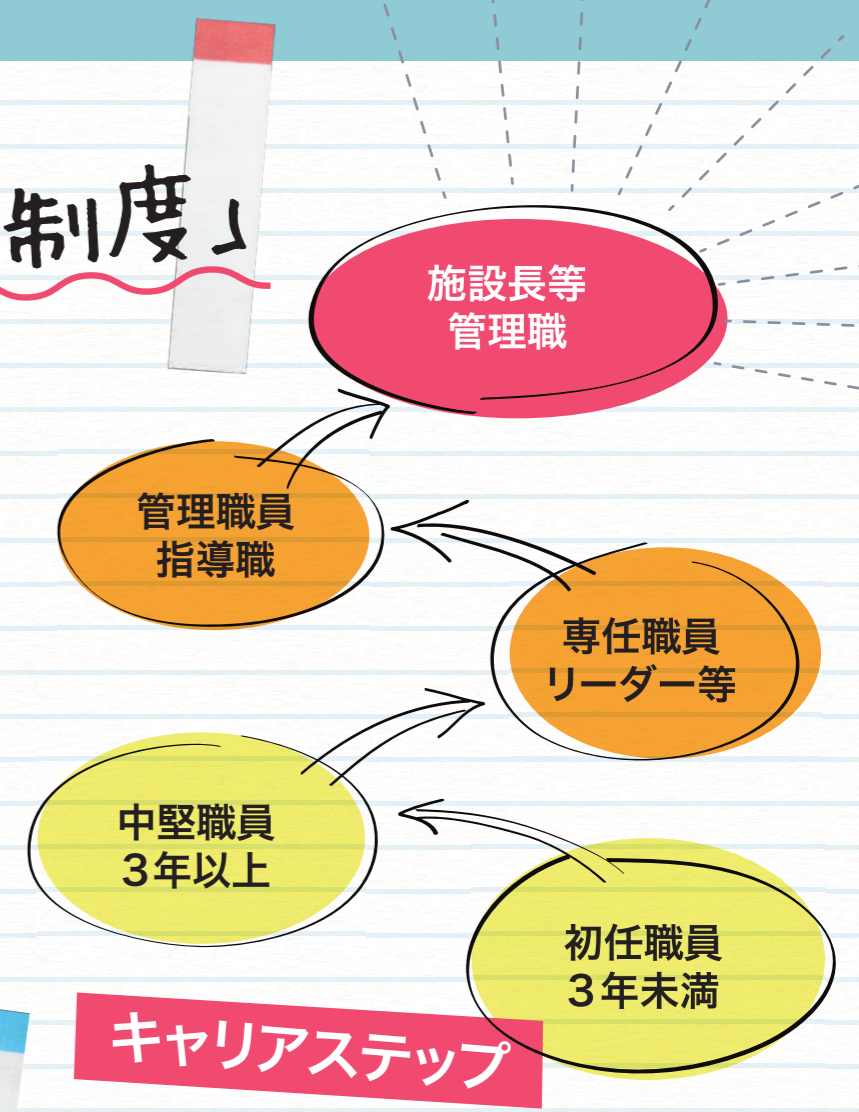
福祉系高校を卒業するほか、福祉系以外の高校出身者であっても、専門学校に通ったり、働きながら研修を受講したりすることで、介護福祉士になることもできます。



資格を取得し、実務能力を身に付け経験を重ねていくと、「サービス提供責任者※」や「生活相談員」といった道もひらけます。
 ※ サービス提供責任者：訪問介護サービスの責任者

頑張りがいのある「キャリアパス制度」

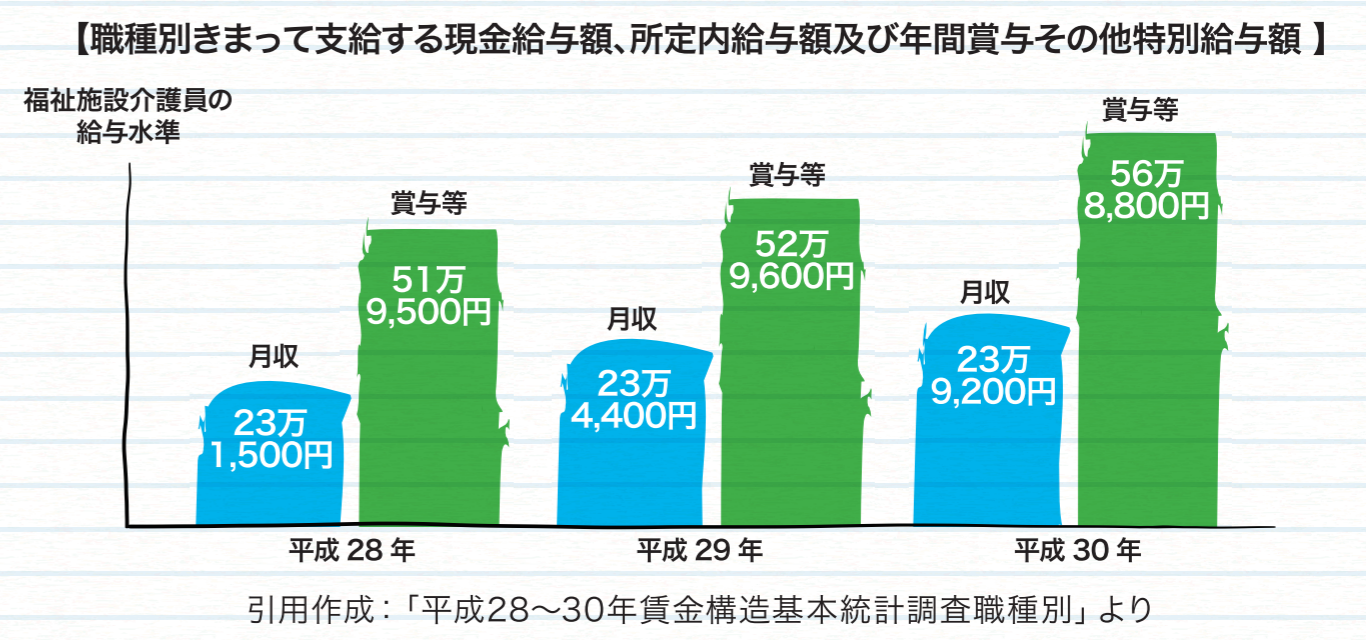
介護職員の給与も、その他の業界と同様に、「専門スキル・実技能力」と「組織の一員としての能力」等、個人の能力が反映されます。
 キャリアパス制度を導入している事業者では、その人の資格やスキル等に応じ、段階毎にしっかりとした評価が行われ、収入面もそれに応じたメリットがあります。



給与水準も毎年アップ!

キャリアステップ

国の統計調査によると、福祉施設に勤める介護職員(非正規を含む)の基本給、賞与等ともに毎年上がっていることがわかります。



Check! 令和元年10月の消費税率引上げに伴う、「介護職員等特定処遇改善加算」の導入により、経験年数10年以上のベテラン介護福祉士を中心に更なる給与改善が図られました。